※令和３年度以前入学生用

学校番号	3032

令和５年度　理数科

教科	理数	科目	理数物理（文系）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版「物理基礎」（数研出版）						
副教材等	四訂版　リードα物理基礎・物理（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

物理は定義を覚え、法則が理解できれば、複雑な問題でも正解が出せる学問である。そのためには数学を利用しなければならないが、数学の問題集のように難解な問題はなく、むしろ数少ない法則で如何に物事を単純化して解くかが鍵になる。高校入試のように「解き方を覚える」方法ではいつまでも物理は面白くないし、当然ながら得点にもつながらない。しかし、世の中の自然現象が実は「ある法則で支配されている」事を知っていれば、解き方など覚えなくとも、答えは自力で導けてしまうのである。物理を学ぶ面白さはそこにある。

2　学習の到達目標

〇毎時間出題する課題に取り組むことで、定義を覚え、法則を理解し運用できるようになること。
〇教科書や問題集の例題は最低限、自力ですべて解けるようになること。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	身のまわりの物理現象に興味や関心をもち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	身のまわりの物理現象の中に問題を見いだし、探求する課程を通して事象を論理的に考察し、導き出した答えを適切に表現している。	身のまわりの物理現象に関する観察、実験などを行い、それらの過程や結果から、数学を用いて論理的に探求する技能を身に付けている。	身のまわりの物理現象について、定義や法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートの記述 ワークシートの記述 小テスト	学習状況の観察 ノートの記述 ワークシートの記述 小テスト 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートの記述 ワークシートの記述 小テスト 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートの記述 ワークシートの記述 小テスト 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	物質と電気	電気の性質	○	○			a:日常の生活で目にする現象と の関連性に興味・関心を持つ。 b:事象を数式を使って表すことが出来る。 c:実験・観察を通して科学的に探求する技能を身につけている。 d:物理現象について、基本的な概念や原理・法則を理解している。	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 定期考査
		電流と電気抵抗			○	○		
		電気とエネルギー		○				
	磁場と交流	電流と磁場	○			○		
		交流と電磁波			○			
後期	エネルギーの利用	エネルギーの移り変わり	○	○				学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 定期考査
		エネルギー資源と発電		○	○	○		
	物理学が拓く世界	摩擦をコントロールする	○			○		学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 定期考査
		エネルギーを有効利用する		○	○			
		見えないものを見る	○	○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。